



2017年4月15日  
第605号

1部10円(組合員は組合費を含む)  
郵便振替0960-7-117274

Tel (06)4793-0633 Fax(06)4793-0644 E-mail: info@ewaosaka.org http://www.ewaosaka.org

発行 大阪教育合同労働組合  
Education Workers and Amalgamated Union Osaka(EWA)

発行人 大橋 裕子

連絡先 大阪市中央区北浜東1-17 8F

# 大阪観光大(明浄学院)で争議拡大 組合つぶしに出てきた理事会の狙いは何か?

大阪観光大学教職員組合が教育合同に団体加盟したのは2014年10月です。名称はそのままですが、教育合同の支部に位置します。

それまでの上部団体は日教組系でしたが、2014年4月から20%の賃金引き下げが強行されたことに対して、十分な指導が受けられなかったことなどから、教育合同への加入を決めたのです。



## さらに悪辣な理事会

2016年4月、明野欽一氏らが5億円の寄附金を持参したとして理事会多数派を占めることになりました。組合は、明野新体制との団交で労使争議の解決をはかろうとしました。明野理事会は府労委事件は前理事会に責任があるとして、和解協議に応じてきました。ところが、いざ調印という段階で副理事長が「組合員名簿を出せ」「組合には解決金を払わない」と言い始め、府労委の説得もむなしく、和解を壊してしまいました。

## 組合敵視にとどまらず

理事会は5億円の寄附金が入金されたというものの、寄附者を明らかにしません。私学への寄附は絶対のマナー・ロンダリングになるため、教職員の間には不安が高まっていました。

理事会は組合との和解を決裂させたのと同時期、明浄学院高校で3年担任をしている高校組合委員長を攻撃しました。昨年11月、指定校推薦入試で合格した生徒とその保護者に対して大阪観光大に変更するよう依頼せよ、と3年担任等に迫ったのです。3年担任は困

難であると伝えると、理事は怒鳴り散らしました。これについて教職員一同名の声明を理事長に届けると、理事会は全教職員に対し、声明に賛同しているかの調査を行いました。そして、経営改善計画に沿わない進路指導をした、賛同していない教職員がいるのに教職員一同の声明を発信したことなどを理由に、3年担任の組合委員長に減給処分を行ったのです。

## 出退勤カードリーダー

同じく昨年11月、出退勤管理を行うとして、従来の出勤簿の代わりにカードリーダーを観光大に導入しました。組合は、労働条件の変更だとして団交を申し入れましたが、理事会は団交事項ではないとして拒否しました。

それでも、賃下げ撤回も含めて団交を申し入れると、今年3月に団交に応じてきました。ところが団交当日、従前の団交担当者以外が参加しているとの理由で、団交の席を蹴って出て行きました。団交担当者は組合が決定できることです。この日は観光大に卒業生を進学させている高校等支部役員が参加していたにもかかわらず、団交を拒否したのでした。

組合は直ちに団交拒否で府労委に申し立てました。5月から審査が始まります。

## 「君が代」不起立で懲戒

観光大組合委員長は人権問題論等を専門にしていますが、大学は

雑誌「部落解放」の購読中止を決めました。さらに、卒業式の国歌斉唱の際に起立の指示に従わなかったとして懲戒にすると組合委員長に通知してきました。起立の指示や業務命令はなく、式次第にも「国歌」としか記載されていなかったにもかかわらずです。大学において、しかも私学で、「君が代」不起立で懲戒処分を行った例は見当たりません。明らかに、組合委員長を攻撃して組合つぶしを狙ったものにほかなりません。

組合は、当然ながら団交を申し入れました。また、弁護士同席の弁明の機会を求めています。

## 教育と無縁な理事会に不安

今年2月頃から、「日本タイムズ」がネット上で明浄学院のことを報道し始めました(<http://nippon-times.net/>)。理事会は反社会勢力とつながり、高校校地の売却を狙っていると報じています。この情報について高校生・保護者の間に不安が広がり、4月4日には理事会が説明会を開催し、HPで偏向的な報道・情報に惑わされないように呼びかけています。

明野理事長体制は、組合敵視から組合つぶしへとギアを上げています。学校法人あるいは教育機関に相応しい理事会体制とはいえません。教育合同は上部団体・全労協と連係して反撃を開始しました。

山下恒生(顧問)

## 当面の日程

- 4月18日(火)14時半 大阪高裁82「君が代」不起立減給処分取消訴訟第2回控訴審
- 4月19日(水)18時 なんば高島屋前 おおさか総がかり行動
- 4月22日(土)11時 大阪空港 JAL大阪支援共闘定例宣伝行動
- 4月27日(木)16時 大阪地裁202 森友学園行政訴訟

- 4月27日(木)18時半 エルおおさか701 大阪全労協2017春闘交流会
- 5月1日(月)13時 中之島公園剣先ひろば 第88回中之島メーデー
- 5月3日(水)13時 扇町公園 憲法こわすな!戦争法廃止!



# 「森友学園問題」私学課の回答は不十分

## ～回答によってさらに疑義が拡大～

本紙前号（4月1日付）でお知らせしましたが、3月17日に開催された春闘総行動において、教育合同は森友学園問題について大阪府教育庁私学課に申し入れをしました。その回答が3月31日にありましたが、とうてい容認することができないものでした。

### 依然として不可解な私学審議会の経緯

瑞穂の國記念小學院の認可について、2014年12月の私学審議会において、必要な資料が整っていないにもかかわらず「不認可」ではなく「継続審議」にしています。そして、翌15年1月の「臨時会」で、さらに不十分な状況でありながら、条件付き「認可適当」としているのは異例中の異例です。その背景には、大阪維新の会の中川隆弘大阪府議からの問い合わせがあったことを認めながら、認可に至った経過の中で政治家や近畿財務局などとのやり取りを明確に

していません。

### 文科省の回答を完全コピペ

塚本幼稚園で戦前のように教育勅語を毎朝朗唱させていたことについては、府教育庁としての判断を示すことなく、2017年3月に文科省に確認したという「教育勅語の効力は1948年に失われているが、道徳心を養うことは重要であり、目的や効果に照らして、幼稚園の設置者が十分に考慮して、建学の精神に従って活用してもらうことに問題はない」という、文科省の回答をそのまま伝えたのみでした。

このことは地方自治の本旨を放棄しているのみならず、文科省の回答の中身も、「教育勅語」を「道徳心を養う」こととつなげており、2018年度から教科化されようとしている「道徳」の教育内容に大変なおそれを感じざるをえま

せん。「道徳」の中でも、天皇が国をつくったという神話に基づく歴史を教え、天皇の臣民として天皇国家のために命を投げ出せという答えが正解になるというのでしょうか。

### 教育勅語は極右政権のアイテム

1948年の国会において、文科省から失効だけではなく排除決議もあげられている「教育勅語」を、「建学の精神に従って活用してもらうことには問題はない」としていることは大問題です。この間、稲田防衛相が国会答弁で「（勅語の）核の部分は今も大切なもの」と発言したり、義家文科省副大臣が衆院内閣委員会で「（教育勅語を毎日の朝礼で朗読することは）教育基本法に反しない限りは問題ない」とするなど、「極右政権」ともいわれる現在の政権や官僚の意見を、そのまま地方の教

育に垂れ流ししようとする態度は断じて許せません。

### 塚本幼稚園の被害者救済が急務

塚本幼稚園の差別（ヘイト）行為や園児虐待行為に対しては、被害を受けた園児の元保護者から2016年12月に申し入れがあったにもかかわらず、2017年1月に塚本幼稚園からの一方的な回答を伝えただけで、対処しているとはいえないこともわかりました。また、再発防止の具体的取り組みについても、回答期限の3月17日を大幅に過ぎているにもかかわらず、「再度提出を求めている」ですませていて、事の重大性を感じているとは言いがたく、府の責任も曖昧にしているとしか言えません。

申し入れをした三者（教育合同、大阪全労協、おおさかユニオンネットワーク）は、今後も私学課との協議の場を追求していきたいと思います。

増田俊道（執行委員）

## 文化おちこち (177) ブータンだより その1



現在、ブータンの大学で教えている組合員による、現地からの報告です。

ブータンに来て早2カ月が過ぎました。当初は、公衆電話がない社会で、労働ビザがないとSIMカードを買うこともできず、当初は家族に着いたと連絡することもできず、本当に困りました。

でも、旧友たちが、気を使ってくれて、居心地の良い日々を過ごさせてもらっています。

授業が始まるまでの間、期間会議や準備期間があったのですが、始業の当日にメールで各自の時間割が知らされ、その日から授業開始という具合には、面食らいました。以前に勤務していた時と様変わりし、ITが発達し、学生たち

への連絡や、授業内容の中身や次の連絡も、校内のITを経て伝えます。教員同士の連絡など、なんでもITなしでは立ち行かない状況になっていました。

しかしながら、停電の起きる率は以前にもまして増えています。停電になると、パワーポイントも使えないので、授業を切り上げる教師もいます。そんな時でも黒板で授業を続けるのは、自分以外は、あまりいいようです。

集会は、経を読むことから始まります。他の宗教を信じている学生がいれば、どうするのかと問うと、それは大きな問題だ。将来的には変えなくては、と考える若い教師もいます。しかし仏教が、生活に密着しているブータンで少数者の人権を認めるため、経を唱えることがなくなるのだろうか。

ブータン社会の現状と、人々の意識、社会規範などに焦点をあて、報告したいと思います。 **ホセ**



## 第88回中之島メーデーに結集しよう！ 5月1日(月)13時～ 中之島公園剣先ひろば

長時間労働を是正 人らしく暮らせるワークルールを

第88回 中之島メーデー

万国の労働者団結せよ！

中之島メーデー

再び破壊への道をたどる 戦争法NO! 監視社会へと進む 共謀罪NO! 沖縄の心を踏みにじる 辺野古基地建設NO!

日時 5月1日(月) 13:00～集会後デモ

場所 中之島公園 剣先ひろば

新学期が始まり、そろそろ職場でのストレスも出てくる頃でしょうか？そんなストレスも政治への怒りも、メーデーで発散しましょう！

今年のメインスローガンは、「長時間労働を是正し人らしく暮らせるワークルールを」、サブスローガンは、「戦争法NO！」「共謀罪NO！」「辺野古基地建設NO！」です。

日時：5月1日(月)13時～  
集会後デモ  
場所：中之島公園剣先ひろば

「教育勅語」が目指す理想社会では、DVもいじめもありえない。それはDVという概念がなかったからではない。DVをし

た側にも、受けた側にもその自覚が育たないからだ。「道徳」教育でめざされる社会も同じだろう。そこで理想とされる「愛」はかなり気持ち悪い